

みずほCustomer Desk Report 2023/08/30号 (As of 2023/08/29)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	146.52
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	146.46	1.0828	158.59	1.2616	0.6428
SYD-NY High	147.37	1.0892	159.03	1.2655	0.6487
SYD-NY Low	145.67	1.0782	158.29	1.2563	0.6401
NY 5:00 PM	145.87	1.0880	158.67	1.2644	0.6480
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,852.67	292.69	日本2年債	0.0080%	▲0.0020%
NASDAQ	13,943.76	238.63	日本10年債	0.6400%	▲0.0200%
S&P	4,497.63	64.32	米国2年債	4.8932%	▲0.1580%
日経平均	32,226.97	56.98	米国5年債	4.2743%	▲0.1309%
TOPIX	2,303.41	3.60	米国10年債	4.1178%	▲0.0871%
ソコ日経先物	32,425.00	135.00	独10年債	2.5090%	▲0.0555%
ロンドンFT	7,464.99	126.41	英10年債	4.4185%	▲0.0205%
DAX	15,930.88	138.27	豪10年債	4.1230%	▲0.0410%
ハンセン指数	18,484.03	353.29	USDJPY 1M Vol	9.28%	0.18%
上海総合	3,135.89	37.25	USDJPY 3M Vol	9.10%	0.07%
NY金	1,965.10	18.30	USDJPY 6M Vol	9.13%	0.03%
WTI	81.16	1.06	USDJPY 1M 25RR	▲0.84%	Yen Call Over
CRB指数	279.79	1.15	EURJPY 3M Vol	9.22%	▲0.01%
ドルインデックス	103.53	▲0.53	EURJPY 6M Vol	9.44%	▲0.01%

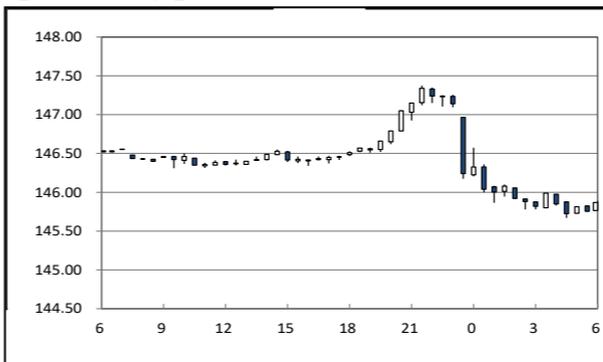
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月29日	08:30	日 失業率	7月 2.7%	2.5%
	23:00	米 FHFA住宅価格指数(前月比)	6月 0.3%	0.6%
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	8月 106.1	116.0
	23:00	米 JOLT求人	7月 8827K	9500K

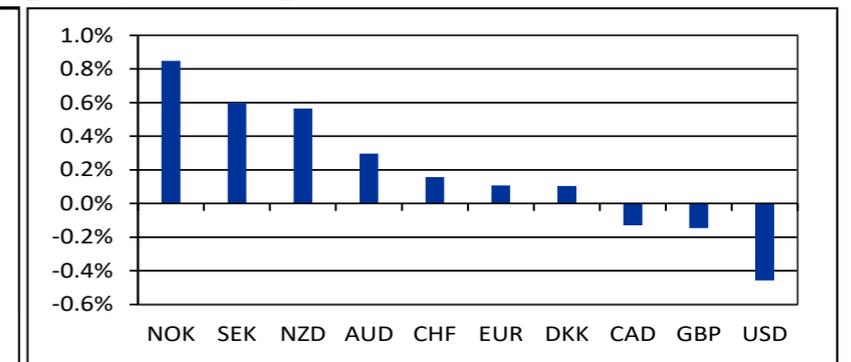
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月30日	18:00	欧 消費者信頼感・確報	8月 -	-16.0
	18:00	欧 鉱工業信頼感指数	8月 -9.9	-9.4
	18:00	欧 サービス業信頼感指数	8月 4.6	5.7
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	8月 0.3%/6.0%	0.3%/6.2%
	21:15	米 ADP雇用統計	8月 195k	324k
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	7月 -0.3%	-0.5%
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	2Q S 2.4%	2.4%
	21:30	米 個人消費	2Q S 1.8%	1.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.00-146.80	1.0800-1.0950	157.80-159.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は高値更新後、一転して下落する展開。東京時間は特段材料なく、レンジ内でもみ合いが継続。海外時間に入ると、「中国の銀行が預金金利のさらなる引き下げを検討」とのHLに反応し、クロス円上昇につれてドル円も上昇した。リスクオフの流れの中でドル円は一本調子で上昇し、一時昨年11月以来の水準である147.37まで上昇した。ただその後、米7月JOLT求人が予想を大きく下回る結果となったこと、消費者信頼感指数も低調だったことから、米利上げ織り込みが剥落、その後の米7年債入札も強く、米金利の上値が重い中でドル円は145円台後半まで急落した。本日はレンジ内での取引が継続か。月末のインフレ指標、月初の米雇用統計を見極める展開となる見込み。月末ということもあり、長期ゾーン中心に金利の上値は重い展開が続きやすく、上値攻めは小休止か。年内米利上げ織り込みも75%→50%と下落したとは言え、まだ利上げが相応に織り込まれており、前述の指標の結果次第ではもう少し調整が進む可能性もありそう。ただ、利上げしないまでも、現状ではFEDは高い政策金利を長期間据え置く可能性が高いため、日銀の政策スタンスを踏まえれば、ドル円の下値が堅い状況に変化はなし

東京	146.46レベルで東京時間オープン。アジア株が総じて堅調に推移する中、ドル円も底堅い推移。ただ、米金利が昨日低下していたこともあり上値は限定的。30銭以内での狭いレンジでの推移となると、146.43レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、146.43レベルでオープン。欧州時間はドル金利が一方調子に上昇しドル買いに。中国株の堅調な推移に欧州株も連れ高となる中、円安も並行。ドル円は147.16まで上昇し同レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は146円台半ばでスタート。146.50を挟んだレンジでの推移後、米長期金利上昇を横目に買いが強まり、147.16レベルでNYオープン。早朝の流れを引き継ぎ、朝方は147.37まで年初来高値を更新。しかし、その後発表された米7月JOLT求人件数と米8月コンファレンスボード消費者信頼感指数が共に予想を下回り、米景気減速懸念が台頭し、ドル買いは巻き戻され一時145.86まで下落。午後は146.10まで回復する場面も見られたが、買いは長続きはせず、145.67まで下押し。終盤も上値重い推移となり、結局145.87レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台前半でスタート。1.0838まで上昇するも、その後発表された独9月GfK消費者信頼感指数が予想より悪化した内容が嫌気され、じり安の動きとなり、1.0805レベルでNYオープン。午前中は先述の弱い米経済指標の内容を受け、ドル売りの流れが強まり、1.0857まで値を戻す。午後高値圏での動きが続き、1.0892を付ける。終盤は小動きとなり、1.0880レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 伊藤・松木